

22 期 黒崎敏男

【日程】

①春 下見 2022 年 4 月 27 日 (水)

本番 5 月 14 日 (土)

②秋 中止

【参加者】

春 下見 坂尻忠秀 (15 期)、久富象二 (20 期)
黒崎敏男 (22 期)

本番 深田 進 (20 期)、久富象二 (20 期)
黒崎敏男 (22 期)

現役

【1】相変わらず険しいアプローチ

高桑碑のある場所は上部からの大規模な土砂崩れによって幅 30m 高さ 3m 程度が岩石で埋まっている状態で変わりなし。

例によって、つり橋手前の 500m くらいの間は足元が悪く、草に隠れて見えないが数十 m 下まで切れ落ちた場所もあり慎重に歩行する。

難所のへつりは水量計の手前までもがけ状になってしまっており、下見時には増水して近寄ることもできなかった。本番も通過不能と判断しう回路を通る。

今回は道が歩きやすかったので片道でダムから 2 時間程度であった。



【2】小屋の状態

周囲はいつもどおり草ぼうぼうではあったが、外部内部とも特に目に付く異常はなく、今のところ安全性に問題はないと見られた。屋根の腐食は進んでおり、塗り替えが必要な時期か。また、ホースに複数亀裂があるため補修が必要。奥の右側の床板の一部の腐朽がやや進行してきた。

【3】草刈り

今回、川原で小屋掛けをして過ごす方々が滞在されていて、その中の 1 人が石川県の職員で、連絡先をお伝えした。高三郎登山道の修復に関心があるとのこと。う回路とへつり部分から小屋まで今回も草刈りを行い、急坂にステップを刻むなどして少しでも歩きやすくする。

【4】帰路

う回路の尾根越えの道を行ったが、それぞれそれなりにしんどく、尾根越えの道については引き続き草刈り、目印などのメンテを行う必要はある。

【5】来年春に向けて

小屋については仮に行うとしても壁の補修や屋根の塗り直し、ホース修理程度を実施すればよいとみられる。

高三郎登山道については、登山口まで偵察したが、金山谷までは特に問題はないものの、谷に渡してあった丸太とロープが使用不能になっているため、増水期は通過が難しいかもしれない。

また、残雪期を中心に多少の登山者が入山している模様で、その記録によると笹が復活してわかりづらくなっている個所があるようなので、希望者があり、可能であれば中間部の草刈りを実施できればと考える。ただし、2 泊を要する可能性があるので事前によく検討してみたい。

今回は 5 月連休明けを予定しており、今回は現役 3 名の参加もあり、久しぶりに賑やかになったところです。参加可能な方はご計画方、よろしくお願いします。

